

ガバナー月信

Vol.03 Sep.



未来を見据えて変化しよう
—多様性を力に—



国際ロータリー第2770地区 2024-2025年度部門委員長

9月特別月間「基本的教育と識字率向上月間／ロータリーの友月間」





9月：基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間

ロータリーの友地区代表委員
板橋 智之 (川口東)



「ロータリーの友」の電子版で検索を！そして投稿を！

ロータリーの友(以下「友」)は国際ロータリー(RI)より指定された日本における機関誌であり情報誌です。また、ロータリークラブ会員は購読義務があります。

毎月発行される「友」をこれまで、その内容の全文をお読みになった事はありますでしょうか？購読が義務となると、購入するだけではなく読む事で義務を果たす事となります。

「友」の紙面の横組には、RI関連の最新情報や特集記事、国内の地区大会や奉仕活動などが掲載され、縦組には、国内34地区の各クラブや会員の活動内容など身近な情報や話題が紹介されていて、ロータリークラブ会員にとってとても有益な情報誌です。

また、2013年の規定審議会の結果、これまでの印刷版に加え、日本では2014年1月よりインターネットを通じた電子版と印刷版の購読どちらかを選択できる様になりました。

さらに、様々な場面で「友」を活用いただけるよう「友」のバックナンバー全てをデータ化し、RIも推奨するアーカイブを充実させました。

この事で様々な検索が可能となり、クラブ活動の充実を支援できる事となりました。

【電子版の検索方法について】

1. PCあるいはスマホで“ロータリーの友”を入力してタップする。
2. トップページにある“「友」電子版アーカイブ”をタップする。
3. IDとパスワードを入力し“ログイン”をタップする。
※IDとパスワードは各クラブに割り当てられているので事務局に事前確認をする。
4. クラブ名や事業名など探したい文字を入力して虫めがねマークをタップする。
5. 入力した文字が色分けされ関連した全ての記事が閲覧できる。

是非、電子版を活用して下さい！

続きまして「友」への投稿についてです。

是非、皆様の活動を投稿して下さい！投稿する事で、より一層「友」に興味をもち、身近な情報誌となるはずです。

クラブとして投稿する場合は、まずは写真の添付が必須です。それも集合写真ではなく、活動内容がわかるものをお願いします。また、より新鮮な情報である事、活動実施の1ヶ月以内を目安にお願いします。そして、全国のロータリークラブ会員が購読している事を念頭において記事原稿を作成して下さい。

会員個人としても、友愛の広場(エッセー、時局雑感、青少年交換時のエピソード等)、うちの子(自慢のペット紹介)、私の一冊(会員のおすすめの本を紹介)、ロータリー俳壇・歌壇・柳壇、パズルdeロータリー等、投稿メニューがあります。こちらへの投稿にもチャレンジして下さい。

但し、掲載されるかどうかは編集会議で最終決定されるので掲載されない場合はご容赦下さい。

結びに「友」へのご理解、ご協力をお願いすると共に、各クラブの素晴らしい価値ある1年間の活動である事を心よりご祈念申し上げます。

ガバナー公式訪問

久喜ロータリークラブ

令和6年7月11日

会長:横山 健次 幹事:高橋 徳雄

7月11日(木)岡村睦美ガバナー、砂沢学賦筆頭地区副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、岡村ガバナー、砂沢筆頭地区副幹事、天野ガバナー補佐、横山会長、高橋幹事出席のもと、懇談会が開催されました。

冒頭、会長より昨年度の前ガバナー解任問題についての質問がありましたが、岡村ガバナーの詳細な説明、丁寧なご回答をいただき、もやもやが晴れた気持ちになりました。その流れでスムーズに、公式訪問例会、クラブ協議会へ入ることができました。

協議会中も会員からガバナーへの質問がいくつかありましたが、これに対してもガバナーの丁寧な説明、回答を頂き感謝しております。協議会のなかでは、当クラブに友好クラブ委員会があることをご指摘いただき(めずらしい)「もっと友好クラブを増やしてもいいのでは」、外部への情報発信を積極的に、会員拡大のサジェスト、クラブの活性化のためには等のご提言を頂き大変参考になりました。

今回のガバナー訪問をきっかけに、前向きで、積極的なクラブ運営の機運が高まり大変感謝しております。

大変、有難うございました。



さいたまシティロータリークラブ

令和6年7月16日

会長:石川 重夫 幹事:小林 宏幸

岡村睦美ガバナー、葭谷広行第2グループガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を行いました。

懇談会の席では、2770地区の会員増強とさいたまシティロータリークラブの会員増強を各人が「考えよう」とする年度にしたいと伝え、ガバナーからアドバイスをいただきました。

例会では、会長挨拶から始まり、例会プログラムでは岡村ガバナーの卓話の中で岡村ガバナーのプロフィール、RI会長の目指すもの、2770地区の目指すものを話されました。クラブ協議会では委員長による計画の発表とエピソードを交え、ガバナーとの活発な意見交換が行われました。





ガバナー公式訪問

浦和ダイヤモンドロータリークラブ

令和6年7月17日

会長：吉野 康幸 幹事：田邊 好昭

7月17日(水)に岡村睦美ガバナー、梶間ガバナー補佐、水晶地区副幹事をお迎えして公式訪問を伊勢丹浦和店7階クローバールームにて開催いたしました。会長・会長エレクト・幹事を交えての例会前懇談会では特に30周年記念事業のモンゴル「太陽の子どもたち」支援コンサートに感心してください、この事業を通して会員増強にも役立てて欲しいとのご助言をいただきました。

例会ではガバナーの思いを共有することができ、クラブ協議会では各委員長が年度計画書方針を自分の言葉で話し、クラブ全員が30周年事業と式典に対する思いをお伝えすることができました。ガバナーとガバナー補佐からは当クラブが発展するために適格なご助言をいただきました。深く感謝申し上げます。



岩槻東ロータリークラブ

令和6年7月23日

会長：奥津 雅史 幹事：増渕 明

去る7月23日、相変わらずの暑さの中、岡村睦美ガバナーはじめ、副幹事の細谷定之様、第4グループ原田晃博ガバナー補佐、グループ幹事の津多一幸様が我がクラブの公式訪問例会に来訪下さいました。

朝11時より懇談会が始まり、会長・幹事に次年度の幹事が出席し、ガバナーとの懇談が始まりました。昼食を間に挟み、午後12時30分より例会がスタートし、ガバナーの卓話を聴く事が出来ました。1時30分からは5階に部屋を変えての懇談会となりました。各自活発な現況報告に、丁寧にガバナーからの講評も頂きました。

岡村ガバナーはじめ、皆様一日お疲れ様でございました。



ガバナー公式訪問

桶川ロータリークラブ

令和6年7月24日

会長:天沼毅大 幹事:森田宏

7月24日(水)、岡村睦美ガバナー、鈴木靖則地区副幹事、そして前島昌文ガバナー補佐、村山隆之補佐幹事を桶川の地にお迎えし、当クラブ例会場にて公式訪問例会を開催致しました。

まず11時に岡村睦美ガバナーを例会場にお招きして会長幹事懇談会を開催致しました。森田幹事が診察があり休診に出来ない為、かねてより会長幹事で調整をさせて頂いて桶川クラブ高橋副幹事に代役として懇談会を行なわせて頂きました。岡村ガバナーにはご理解頂き、感謝申し上げます。

冒頭に天沼毅大会長から当クラブの概況や特徴のご説明を始めるつもりでしたが、岡村睦美ガバナーは当クラブの特徴及び概況について、また今年度の事業計画やクラブビジョンを含め把握されてましたのでスムーズに説明が出来ました。岡村睦美ガバナーから、今年度桶川クラブが地区に申請させて頂き活用させて頂きます地区補助金の特別枠でのタイ・バンコククラブとの国際奉仕事業の非常に解りやすくご助言・ご指導を頂き多くのお褒めの言葉も頂き、次年度に考えておりましたグローバル補助金事業への挑戦についても背中を押して頂き、今年度から申請をしていこうと新たな国際奉仕事業への活力になりました。また、今年度の国際ロータリー・地区目標でもある会員増強について、岡村睦美ガバナーのお考えや会員拡大を行なっていくうえでの会長の気構えや振る舞い、そして会長のやる気の示し方等細部に渡る部分までご丁寧にご指導・ご助言をいただきました。我クラブでも、20人という会員数では奉仕活動も含めた活動の拡大及びクラブのアピール活動、そして何より伝統のあるクラブの存続等さまざまな視点で常に考えておりますので、会員増強に向けてクラブを引っ張り1人でも多く仲間を増やし、岡村睦美ガバナーに、新会員へのバッヂの授与にお越しいただけるくらいの増強を行なわないと天沼会長の意気込みになり、有意義な懇談会を行なわせて頂きました。

続いて例会場にて昼食及び当クラブ会員のご挨拶にもお付き合い頂き、13時より例会を開催。岡村睦美ガバナーから基調卓話として当クラブ会員へ今年度の国際ロータリーの方針やお考え等のご報告と、地区の運営方針等を解り易く丁寧に卓話としてお伝え頂きました。

記念撮影に続き、14時よりクラブ協議会を実施。冒頭にも申しました通り、岡村睦美ガバナーは事前に当クラブの年度計画書に目を通して頂いて熟読されてましたので、各担当が記した運営方針をベースに自身の言葉でその想いをガバナーに伝え、またそれを基に岡村睦美ガバナーより多くのアドバイスを終始頂くことができたのは次年度以降に生かせる大きな収穫でしたので、新たなクラブビジョンや戦略計画に活用できればと思いました。

ご多忙にも関わらず岡村睦美ガバナーにお会い出来てアドバイス頂き、より良いクラブ運営に生かせればとメンバー一同感じております。岡村睦美ガバナー、そしてリハーサルを含め丁寧にフォローを頂きました前島昌文ガバナー補佐を始めと致しますご協力頂きましたすべての方々に感謝と御礼を申し上げまして、公式訪問ご報告とさせて頂きます。





ガバナー公式訪問

春日部西ロータリークラブ

令和6年7月25日

会長:中野重雄 幹事:山田毅

7月25日(木) 岡村睦美ガバナー、渋谷忠明ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会をふれあいキューブにて開催致しました。例会前の懇談会では会長・副会長・幹事を交え、クラブの現況についてご指導頂き、勉強させて頂きました。

例会では、RIの方針をとてもわかり易く、また、ガバナーの地区方針に関して気持ちのこもった卓話をして頂きました。

クラブ協議会では、各委員長の年度計画方針発表でいろいろな難問や疑義に対しても的確なご指導とご助言を賜りました。また、渋谷ガバナー補佐の総評を頂き、クラブ会員共に今後春日部西クラブが発展できる一日となりました事、深く感謝申し上げます。



浦和北東ロータリークラブ

令和6年7月30日

会長:山中重則 幹事:遠藤邦彦

国際ロータリー第2770地区ガバナー岡村睦美様、第2グループガバナー補佐葭谷広行様をお迎えして、7月30日(火)にガバナー公式訪問を開催させて頂きました。懇談会では地区の現状の説明と浦和北東ロータリークラブの現状の把握をしていただきました。例会卓話として、ステファニーA.アーチックRI会長の方針や地区テーマについてご講話をして頂きました。そしてクラブ協議会で、ガバナー岡村睦美様から頂戴しましたご指導と温かい激励のお言葉は、私たちのクラブにとって大変貴重なものであり、大いに励みとなりました。また、ガバナー訪問に際して行き届いたご配慮に対し、心より感謝申し上げます。

ガバナー岡村睦美様のご指導を基に、私たちのクラブは更なる成長と地域社会への貢献を目指して邁進して参ります。全メンバーが一丸となり、頂いたアドバイスを活かし、「温もりと礼節」をもってクラブ活動の充実を図る所存でございます。

今後とも、ご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、この度のご訪問に重ねて心より深謝申し上げますと共に、ガバナー岡村睦美様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



職業奉仕部門・社会奉仕部門合同セミナー

7月19日 大宮ソニックスティ市民ホール

2024年7月19日金曜日、大宮ソニックスティの4階市民ホールで、職業奉仕部門と社会奉仕部門の合同セミナーを開催致しました。

テーマは、「日本こども病院で働くファシリティドッグと育成」です。ファシリティドッグが病気の子供達の癒しになり、勇気を与えてくれて、治療を行いやすい環境を作っていることを知りました。ですが、その数は日本では、たった3頭しかいなく、その育成は海外に頼っている事も知りました。

職業奉仕部門といたしましては、様々な職業があることに目を向けて頂きたい。という狙いと皆様の職業を通じてご支援をして頂き、埼玉県にもファシリティドッグを置いて頂ける病院が出来たらいいなという思いで、埼玉県小児医療センターの方々にもお越し頂き、講演を聞いて頂きました。ご参加頂きました皆様には、目新しい分野での講演で、ご満足頂けたのではないかと思っております。今回は、社会奉仕の吉田部門委員長のご尽力に全て頼ってしまいました。

その後は、小グループに分かれてのディスカッションを致しました。本年度は、皆様にご参加頂くセミナーをテーマにしておりますので、職業奉仕部門と致しましては、ロータリアンの行動規範とDEI+Bについて、皆様に周知して頂きたく、ご理解の程を発表して頂いたり、疑問を投げかけて頂きました。

皆様と語り合うことにより、グループの輪ができ、これぞビロンギングだと実感致しました。何回かに渡る委員会を開催して話し合っていくうちに、委員同士の輪もできて、皆様で1つのものを築き上げていく楽しさを感じることができました事もセミナーの成果だったと思っております。

セミナーの設営におきましては、お席を決めさせていただきましたので、受付に時間がかかってしまいました事、お名前のない方がいらした事、また、ご参加頂きましたガバナー補佐様のお席がございませんでした事など、反省すべきことが沢山ありました。至らないことが多くご迷惑をおかけしてしまった皆様には、この場をお借りして、お詫び申し上げます。

ご参加下さいました皆様、ご臨席下さいましたご来賓の皆様、そして、ご協力下さいました委員の皆様に感謝申し上げて、ご報告とさせて頂きます。

職業奉仕部門委員長 中川 富保子

2024年7月19日(金)13時より、大宮ソニックスティ市民ホールにおいて、2024-2025年度職業奉仕・社会奉仕合同部門セミナーが開催されました。

職業奉仕・社会奉仕合同であります、社会奉仕部門としてご報告いたします。



内容としては、第1部として講演会を実施しました。『日本こども病院で働くファシリティドッグと育成』というテーマで、特定非営利活動法人シャイン・オン!キッズの事業部の白子晶子様、ファシリティドッグハンドラーの平沢佳奈様・池上茉実様(ZOOMにて)、そして以前長期入院中ファシリティドッグに力をもらい治療を克服した宇田華都(カノト)さん(中学3年生)をお迎えしました。

ファシリティドッグとは、子ども病院で小児がんや重い病気と闘う子どもたちとそのご家族に寄り添いサポートするホスピタルファシリティドッグ(病院に常駐する犬)のことです。ファシリティドッグが寄り添うことより、

小児がんや重い病気の子どもたちが治療を前向きに捉え、自尊心を保てるよう、子どもたちとその家族の生活の質の向上を目指します。

白子様のお話で、ファシリティドッグが手術前に不安を抱く子どもに寄り添い手術室の手前まで付き



添ったり、注射が怖くて泣いてしまっている子どもがファシリティドッグの手を握りながらなら注射も克服できたり、骨髄移植後にクリーンルームで過ごさなければならない子どもに対して窓越しで寄り添ったりと、ファシリティドッグの仕事は様々で、辛い治療を強いられている子どもにとっては、何よりも頼れる存在で、ご家族にとっても心の癒し、よりどころとなっていました。ファシリティドッグの素晴らしさが伝わりました。

ファシリティドッグは日本の子ども病院では4か所でそれぞれ1頭が活動しています。シャイン・オン!キッズの皆様、そして我々社会奉仕部門委員会の願いとしては、埼玉県立小児医療センターにも是非導入してほしいと思い、埼玉県立小児医療センターの方にも講演を聞いていただきたいと打診したところ、病院長はじめ主要な部署の方々が6名も出席してくださいました。これはもしかしたら、将来ロータリーの力で夢が実現するのではないかと期待していました。

最後に小学6年生の2月に小児がんを発症し、約半年間入院治療を行った際、ファシリティドッグに力をもらい克服した宇野華都さん(中学3年生)よりスピーチをいただきました。ファシリティドッグのマサとの出会いから、辛い治療の体験談、そしてその辛い治療をマサがサポートしてくれたことについてお話をいただき、あらためてファシリティドッグの素晴らしさを感じました。

基調講演後お二人とガバナーの3名にパネラーになっていただき、参加者の皆様とパネルディスカッションを開催致しました。熱くなられたあるクラブの会長さんは、思わず会員倍増しますと決意表明をされたりと大盛況でした。

社会奉仕部門委員長 吉田 耕之

米山記念奨学部門セミナー

8月10日 大宮ソニックスティ市民ホール

8月10日、酷暑にもかかわらず、大学指導教員、ロータリアン、米山奨学生、米山学友など150名もの参加を頂き、大宮ソニックスティ市民ホールで、米山記念奨学部門セミナーを開催しました。

今年度は、米山奨学事業の素晴らしさを実感できるよう活動するという方針の下、セミナーを企画し、前半では、米山奨学事業の概要、目的、学生の選考方法、世話クラブの選考についてなど、後半では、「米山奨学事業がもたらす三観変化」という題目で、米山親善大使の陳瑤さん(マリオさん)の講演、学友会会長のスヌワルディペンドラさんの報告を行いました。

特に、陳瑤さんの講演では、米山奨学生の現状、世界にある学友会、親善大使としての活動報告、米山奨学事業を通じて自分自身がどう変化したか、米山奨学生になったことで自分の人生がどう変わったことなど具体的に話して頂き、大変感銘を受けました。



実は、当初予定してあった親善大使が、体調不良により急遽来られないということがセミナー開催の3日前に連絡があり、米山奨学会が、早急に陳瑤さんに連絡を取って頂き、陳瑤さんも通訳など事業があるにもかかわらず、卓話をして頂くことになりました。ロータリーとの絆、友情、このような個人的な繋がりこそ、世界平和の基本であると思います。それを感じたこの3日間でありました。

米山奨学事業は、ロータリアンの皆様の寄付で成り立っております。今後とも、ご協力をお願いし、また、米山奨学生を受け入れることでクラブの活性化に繋げて頂きたいと思います。

米山記念奨学部門委員長 小林 達郎(幸手中央RC)





ロータリー財団

大口寄付 \$52,614.09	大口寄付 \$20,000.00	大口寄付 \$16,000.00	大口寄付 \$11,055.56	大口寄付 \$11,000.00	マルチブル (9)	マルチブル (8)
森田 武司 (大宮北東) 令和6年7月4日	中島 美三郎 (越谷) 令和6年7月29日	橋本 直子 (大宮シティ) 令和6年7月30日	高橋 靖 (春日部西) 令和6年7月29日	佐藤 隆行 (大宮シティ) 令和6年7月30日	松田 繁三 (越谷) 令和6年7月29日	池田 遙幌 (桶川) 令和6年7月10日

ロータリー財団

マルチブル (8)	マルチブル (7)	マルチブル (7)	マルチブル (6)	マルチブル (6)	マルチブル (2)	マルチブル (2)
阿部 徹 (川口中央) 令和6年7月11日	鈴木 拓雄 (桶川) 令和6年7月17日	蓮見 典史 (越谷) 令和6年7月29日	前島 昌文 (桶川) 令和6年7月3日	栗原 均 (蓮田) 令和6年7月30日	松岡 正祥 (桶川) 令和6年7月3日	野村 均 (蓮田) 令和6年7月30日

ロータリー財団

マルチブル (1)	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター	ベネファクター
深江 瑞枝 (蓮田) 令和6年7月30日	杉田 政男 (岩槻東) 令和6年7月26日	舟山 清志 (蓮田) 令和6年7月30日	大澤 良治 (さいたま櫻) 令和6年7月26日	山口 剛一 (春日部) 令和6年7月10日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー (54)	米山功労者メジャードナー (25)	米山功労者メジャードナー (24)	米山功労者メジャードナー (17)	米山功労者メジャードナー (14)	米山功労者メジャードナー (13)	米山功労者メジャードナー (13)
森田 武司 (大宮北東) 令和6年7月7日	中島 美三郎 (越谷) 令和6年7月30日	高橋 靖 (春日部西) 令和6年7月29日	桃木 俊郎 (越谷) 令和6年7月30日	田村 晃佑 (春日部) 令和6年7月4日	寺門 孝彦 (春日部) 令和6年7月4日	波多野 勝治 (蓮田) 令和6年7月30日

米山奨学会

米山功労者メジャードナー (10)	米山功労者メジャードナー (10)	米山功労者メジャードナー (10)	米山功労者マルチブル (9)	米山功労者マルチブル (8)	米山功労者マルチブル (8)	米山功労者マルチブル (8)
阿部 徹 (川口中央) 令和6年7月11日	蓮見 典史 (越谷) 令和6年7月30日	山形 照之 (岩槻東) 令和6年7月26日	小山 清 (上尾西) 令和6年7月31日	松田 繁三 (越谷) 令和6年7月30日	鈴木 伸雄 (大宮) 令和6年7月29日	深江 瑞枝 (蓮田) 令和6年7月30日



米山奨学会



橋本 和久
(大宮)
令和6年7月29日



舟山 清志
(蓮田)
令和6年7月30日



三浦 守
(大宮)
令和6年7月29日



齋藤 芳尚
(春日部)
令和6年7月10日



松崎 覚
(春日部)
令和6年7月10日



小岩井 忠
(上尾西)
令和6年7月31日



齋藤 裕
(川口中央)
令和6年7月9日



飯渕 昭二
(さいたま中央)
令和6年7月1日入会
株アシスト
スキューバダイビング



前 裕美
(大宮東)
令和6年7月1日入会
(株)創進
不動産業



日下部 一義
(杉戸)
令和6年7月1日入会
(有)アグリパークゆめすぎと
道の駅



小泉 乃里枝
(杉戸)
令和6年7月1日入会
明治安田生命保険相互会社
生命保険



石坂 光昭
(蓮田)
令和6年7月1日入会
日創工業(株)
金属加工製造業



石橋 愛美
(川口むさし野)
令和6年7月1日入会
第一生命保険会社
保険業



中谷 徹也
(浦和中)
令和6年7月2日入会
ブルデンシャル生命保険㈱
生命保険

新会員



齊藤 哲也
(蕨)
令和6年7月2日入会
税理士法人コンパス
税理士業



笠井 肇
(蕨)
令和6年7月2日入会
(株)笠井
内装・ハウスクリーニング



宍戸 朋広
(春日部南)
令和6年7月3日入会
もつ焼き どもや
和食料理店



村中 克徳
(春日部南)
令和6年7月3日入会
村中建設㈱
土木工事



高橋 寿
(春日部南)
令和6年7月3日入会
株桜花建設
建築工事



山崎 博美
(春日部南)
令和6年7月3日入会
(有)SHOP NOW
衣料品小売



黒岩 義彦
(春日部南)
令和6年7月3日入会
(有)クロイワ商事
一般区域貨物運送

新会員



岸 雅則
(大宮南)
令和6年7月4日入会
財務クリニック㈱
財務・コンサルタント業



松井 梢
(大宮南)
令和6年7月4日入会
SALOWIN 大宮
美容師



村上 泉
(岩槻)
令和6年7月4日入会
いろは合同会社
社会福祉・障がい福祉



高見澤 暢如
(春日部西)
令和6年7月4日入会
日本生命保険相互会社
生命保険



佐藤 達視
(川口)
令和6年7月4日入会
NTT東日本 埼玉南支店
情報通信業



駒沢 あい
(岩槻)
令和6年7月4日入会
第一生命(株)
保険業



ビスカルマスラジクマル
(大宮シティ)
令和6年7月8日入会
SURA@BEER BAR
飲食業



新会員



針谷 裕一

(大宮シティ)
令和6年7月8日入会
さくら社会保険労務法人
専門サービス業



長谷川 正史

(春日部)
令和6年7月9日入会
(有)長谷川電気工業
電気工事業



三輪 真久

(春日部)
令和6年7月9日入会
エムケイ・コンサルティング㈱
損害保険業



前田 忠信

(久喜)
令和6年7月11日入会
(株)サンライズ
自動車学校



霜鳥 正隆

(越谷東)
令和6年7月11日入会
東日本電信電話㈱埼玉事業部埼玉南支店
情報通信業



丸岡 直樹

(さいたま新都心)
令和6年7月22日入会
三井住友海上あいおい生命保険
生命保険



荒巻 卓

(さいたま新都心)
令和6年7月22日入会
武蔵野銀行与野支店
地方銀行

新会員



斎藤 充

(越谷東)
令和6年7月25日入会
㈱Real
保険代理店業



深江 麻衣子

(越谷東)
令和6年7月25日入会
(株)ユニオン楽器
楽器販売業



上野 浩

(川口)
令和6年7月25日入会
(株)エブセル
電気事業



武田 有紀

(浦和)
令和6年7月26日入会
(株)NTTドコモ埼玉支店
通信事業



伊澤 武登

(大宮北東)
令和6年7月30日入会
信庄産業㈱
鋼管製造・販売業



坂巻 繁一

(春日部南)
令和6年7月31日入会
(有)坂巻材木店
木製品製造



星野 孝之

(大宮)
令和6年8月7日入会
(株)伊藤園 大宮支店
食料品製造業

訃報



山崎 勝己

(越谷東)
令和6年8月5日ご逝去
享年 62歳

謹んでお悔やみ
申し上げます。



TOPICS 浦和中ロータリークラブ

「これから何年間も子供たちは白い塀を見て通学するの!??」そんな疑問から始まったこども笑顔プロジェクト。

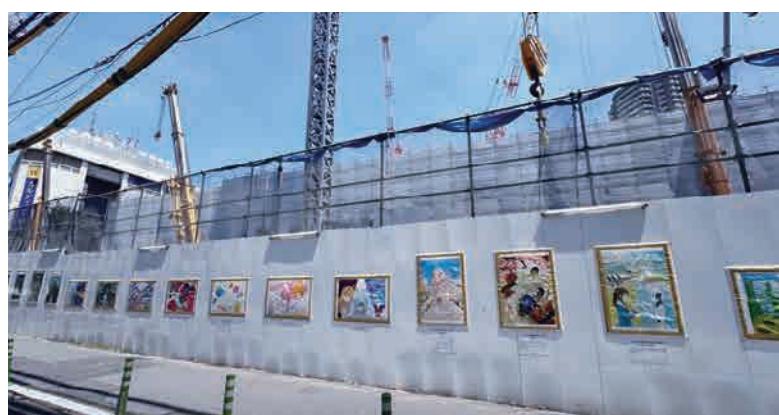
浦和駅西口高砂地区再開発事業が始まり、南側高砂小学校前の仮囲いに、高砂小学校・双葉幼稚園のこどもたちが「いきもの」をテーマにした絵を、さいたま市出身の画家岡野ともたかさんとのコラボレーションでアートギャラリーを完成させました。



高評価をいただき、西側の人通りが多い通路に浦和周辺の中学校、高等学校の美術部、漫画研究部の皆さんによる「地域笑顔プロジェクト」を企画しました。

テーマは「未来、希望」。

中学8校、高等学校7校に参加をいただき、その作品をA0サイズのパネルに出力し、アートギャラリーが完成しました。水彩画、油絵、デジタルと素晴らしい作品が並んでいます。



5月には記念式典を開催しさいたま市から参加者全員に感謝状が贈られました。
絵の前で撮った生徒さんたちの写真が読売新聞に掲載されました。たくさんの子どもたち、学生の皆さん
が一生懸命に描いた作品、たくさんの夢をちりばめた仮囲いギャラリーを是非ご覧下さい。

浦和中ロータリークラブ



TOPICS 岩槻ロータリークラブ

8月18日 岩槻まつり 2024



令和6年8月18日日曜日、岩槻ロータリークラブと県立岩槻高校インタークトクラブは、合同で岩槻まつり2024においてポリオ街頭募金とバザーを開催しました。

前々日の16日にクラブ事務所にてバザーに出品する品物の値付けと梱包を行う予定でしたが台風接近のため中止となり、岩槻まつり当日は台風一過の猛暑の中、早朝よりロータリアンとインタークト生達は協力して会場の設営、バザー商品の準備、販売、ポリオ街頭募金を行いました。

当初は遠慮がちだったインタークト生達ですが、慣れてくると呼び込みを行ったり、お客様と値引き交渉を始めるなど積極的になり、そのかいもあって早い時間に無事販売完了となりました。またこの事業によりロータリアンとインタークト生達の絆も更に深めることができ、今後のお互いの活動の糧になったと思います。

なおバザーによる収益金ですが、全額県立岩槻高校インタークトクラブの活動資金となり、数々の奉仕活動を順調の進めるために必要な原資となります。

岩槻ロータリークラブと県立岩槻高校インタークトクラブは、これからも誇りと謙虚さを持ったクラブとして地域に根差した奉仕活動をしてまいります。





1 モンゴル米山学友会 創立 10 周年記念式典開催

7月20日、モンゴル米山学友会の創立10周年記念式典がウランバートルホテルにて開催されました。会場には、モンゴル出身の米山学友のみならず、韓国米山学友会会長の朴在泳さん(1995-97／仙台泉RC)など、海外からも米山学友が出席。日本からは、当会の小沢一彦名誉理事長、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、田中久夫常務理事をはじめ、数十人のロータリー会員が出席しました。来賓としてモンゴル国文部大臣、日本国の大川原 賢駐モンゴル特命全権大使が出席されるなど、会場には総勢140人が集まりました。



当日の式典では、2022年から同学友会会長を務めたセデバザル ウドワルさん(2010-12／下野上三川RC)が退任し、新たにバヤンバット



トウメンデルゲルさん(2014-15／大阪東RC)が7代目の会長に選任され、その就任式が執り行われました。続く分科会では、3つに分かれ米

山学友や日本のロータリー会員が卓話を披露。その後、最後のプログラムとして、華やかな祝賀会で締めくくりとなりました。



翌日は参加希望者に向けた遊牧民・大草原体験プログラムが開催され、テレルジ国立公園内の乗馬体験や、民族コンサート鑑賞などが開催され、モンゴルの文化を体験しました。

これまでに日本の数多くのクラブと協力し、モンゴル図書館プロジェクトによる図書室設立や、医療機関への寄付・医療機器寄贈など、多数の奉仕活動を行っている同学友会の今後のさらなる活躍に注目です。

2 2025学年度奨学生の募集を開始

来年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山記念奨学会員会が選定し、当会選考・学務委員会と常務理事会の承認を経た指定校は、全国で586キャンパス(前年度563キャンパス)。指定校からの被推薦者数は1,909人(同1,789人)で、この中から新規奨学生約700人が選ばれます。今回、初指定校は15校。また、5地区が例会に通える範囲の地区外の大学を指定。大学・大学院以外を対象とする地区

奨励奨学生は、13地区(同14地区)38校(同39校)となりました。当会からは8月6日に、全指定校に宛ててメールで通知しました。各地区米山奨学会員会では毎年、学校説明会や担当者との懇談を行い、事業の目的に適う多様な人材を採用しようと努力しています。指定校からの応募締切は例年通り、10月15日となります。※指定校一覧、募集要項・申込書式は、当会ホームページにて公開しています

3 寄付金速報 — 2024-25 年度の始まりは? —

前年同期比

- 31.4%

普 - 2.9% 特 - 58.9%

2024 - 25 年度の最初の月となる 7 月末までの寄付金は約 2 億 1,300 万円でした。前年同期と比べて約 31.4% 減（普通寄付金: 2.9% 減、特別寄付

金: 58.9% 減）、約 9,700 万円の減額となりました。1 億円近くの減額となったのは、前年度の初めに同額の高額寄付をいただいたことが影響しています。

ご寄付いただきました皆さんに厚く御礼申し上げます。今年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

4 ベトナム南米山学友会 第 1 期総会開催

7 月 28 日、ベトナム南米山学友会の第 1 期総会がハイブリッド開催されました。当会の駒井英基常務理事が参加したほか、日本からも 6 人のロータリー会員が出席。また、ベトナム出身の米山学友約 20 人に加え、タイ米山学友会会长のペチニン ナレスさん（1994-96／越谷 RC）、韓国米山学友会会长の朴在泳さん、第 2580 地区米山学友会会长の楊子明さん（2002-03／東京新橋 RC）らの学友が参加しました。

総会では、ホー ライ フーン会長（1973-75／桐生西 RC）の挨拶に続き、会計・活動報告が

行われました。同学友会では日本の多くのクラブと協働し、奉仕・交流活動を行っており、児童養護施設への物資寄贈など、さまざまな奉仕活動が報告されました。また、2016 年から行っているホーチミン市工科大学の学生への奨学金プロジェクトの支給対象者数は累計 23 人となり、この総会にも 5 人の奨学生が参加しました。

総会はすべて日本語で進行され、参加者には日頃からの支援への感謝が述べられ、心温まる総会となりました。

5 「再会 in 関東」実行委員会 寄付&復興ボランティア

昨年 8 月に茨城県つくば市で開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」実行委員会が、米山梅吉記念館への寄付、そして、能登半島地震で被災した学校へのスポーツ用具寄贈を行いました。

6 月 9 日、第 2590 地区米山奨学生の米山梅吉記念館訪問にあわせて、「再会 in 関東」実行委員会メンバーの朴貞子さん（2006-08／岸和田 RC）、何玉翠さん（1987-89／奈良 RC）、崔玉芬さん（2007-08／大洗 RC）の 3 人で記念館を訪問。「再会 in 関東」実行委員会から記念館へ寄付金を贈呈しました。



贈呈式を行った朴さん（中央）、何さん（右から 2 人目）と崔さん（右）



スポーツ用具を寄贈した朴さんと陳さん（中央左）

そして 7 月 12 日、朴さんは第 5 代よねやま親善大使の陳瑤さん（2012-14／四日市東 RC）とともに石川県七尾市を訪問。七尾 RC の例会に出席した後、甚大な被害を受けた七尾市内の鵬学園高等学校を訪れ、スポーツ用具（バレーボールネット、バドミントンラケット等）の寄贈を行いました。13 日は同市で復旧支援ボランティアとして、がれきの撤去・運搬作業に参加。自らの目で七尾市の現状を見た朴さんは「実際に作業をしてみると、まだ復興への道のりは非常に遠いと痛感させられました」と、述べました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当 : 長尾 (ながお)



「クラブが個性を保持しつつ成長していくには？」

第3地域 ロータリーコーディネーター 中川 基成（あすか RC）

いかなる組織も結成されて時間が経過すると、その組織の理念のもとに積み重ねられた歴史や人間関係を通じて独自の組織風土ができあがり、やがてそれが組織の個性となっていきます。

魅力的で良き個性はその組織を支え成長させる原動力にもなります。言い換えれば、組織において個性と成長は両立もしくは連動していくといつてもよいでしょう。

ロータリークラブも同様に各クラブにはそれぞれの個性があります。

しかし、残念ながらクラブ独自の個性があっても、成長できないでいるクラブも多くあります。クラブに出来上がった個性は簡単に捨てることや変えることは難しいですが、誰から見ても魅力的な個性に高めていく努力はクラブの成長のためには必要あります。

では、ロータリーにおける魅力的で良き個性とは、如何なるものでしょうか？

まずは、ロータリーの奉仕の理念に集った会員諸氏が、5つの中核的価値観 即ち奉仕、親睦、リーダーシップ、多様性、高潔性をしっかりと堅持して会員同士が互いに学び合うことです。

また、一部の会員だけではなく、できるだけ多くの会員がクラブの奉仕活動に参加行動することによって一体感が醸成され、そのクラブの魅力が生まれて、より良き個性が育っていくものと思います。

自クラブに対する客観的考察の第一歩として、クラブの会員全員に対して会員満足度調査(My Rotary にひな形あります)をお勧めします。それをもとに会員同士でクラブの現状と将来についてお互いの率直な意見交換をしていくことが、クラブの成長への第一歩を踏み出す契機になると思います。

さらにクラブ活性化の重要なキーポイントは、行動計画(Action Plan)の推進であります。

行動計画に沿ってクラブが3年目標(3-Year Rolling Goals)を設定するネライは次の3点であります。

1. 繼続性があること 2. シンプルで整合性があること 3. 地域適応力があること

是非、ロータリーの行動計画にある4つの優先事項に基づいて、自クラブの振り返りと新たな取組によってクラブの活性化を図ることが強く望まれます。

(4つの優先事項: ・より大きなインパクトをもたらす ・参加者の基盤を広げる
・参加者の積極的なかかわりを促す ・適応力を高める)

ロータリーでは年齢や経験を問わず、様々なプログラムの奉仕活動やラーニングをつうじて、人生を学び成長する機会を得ることができます。それがロータリーのかけがえのない魅力となって、クラブが成長し、質・量ともなった会員増強につながっていくものと確信いたします。





DEI と Belonging

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 神野 正博 (七尾 RC)

7月26日に開幕したパリオリンピックは、多くの感動を私たちに与えてくれました。特に開会式は、某新聞の見出しを借りれば、まさに「寛容な社会」を訴えるメッセージ性の高いものでした。

Diversity 多様性を Equity 公平に Inclusion インクルージョンすること、すなわち、紛争と分断の時代だからこそ、「多様性のある人々を等しく一人残さず受け入れる寛容さ」を求めるものだったと言えるのではないかでしょうか。そんな意味で、ロータリーのDEIは世界における社会活動の潮流の先端にある考え方と言っていいでしょう。

さて、皆さまが愛読している(はずの)雑誌、『ロータリーの友』は国際ロータリーの地域公式雑誌として、紙媒体でも届けられますが、電子版アーカイブとして、私たちは最新号からバックナンバーまでを見ることができます。そして、私は、毎年、考え方抜かれた配色で表紙に RI 会長が登場する 7月号を楽しみにしています。それは、7月号の RI 指定記事(全世界共通記事)である会長メッセージとカバーストーリーに、その年度のリーダーが何を一番言いたいのかが出てくるからなのです。これは各地区のガバナー月信第1号の 7月号のガバナーメッセージも然りかもしれません。



メンタルヘルスを強調したゴードン R. マッキナリー2023-24年度 RI 会長の第一声は、「ロータリーは会員と世界の人々のために動き、恒久的な平和を築くために尽力し、全ての活動に帰属意識とインクルージョンを浸透させています。」でした。そして、ステファニー A. アーチック 2024-25年度 RI 会長の第一声は「ロータリーが本領を発揮できるのは、クラブでインクルージョンと帰属意識が育まれたときです。実際、帰属意識こそが「ロータリーのマジック」そのものだと言っても過言ではありません。インクルージョンと帰属意識に焦点を当てれば、共通の目的のために人々は結束しやすくなります。」です。

お二人とも、インクルージョンと帰属意識 Belonging を強調したことは偶然ではないと思います。会員数の漸減に悩むロータリーにとって、多様な仲間を受け入れ Inclusion、会員の帰属意識を育むことこそ、退会防止につながるからです。

なぜ、ロータリーに帰属しているのか？一人ひとりの会員に、会員の数だけの理由とストーリーがあるはずです。そのストーリーのための奉仕活動や親睦活動があるはずです。そして、そのストーリーを外部や内部に広報することで、ロータリーの公共イメージが向上し、より強い帰属意識が涵養されるのではないかでしょうか。



EMGAとして

第1地域 恒久基金・大口寄付アドバイザー 細川 吉博 (帯広北 RC)

ロータリー財団の使命は『ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること』とされています。1917年に発足した財団はそれから100年以上に渡り世界中で積極的に活動してきました。1905年発足の国際ロータリーも行動計画を定め、四つの優先事項を柱とする計画を立て、その時代の必要とする事項に適応するようしてきました。しかし現在、世界の各地で今なお紛争や自然災害が発生している状況が続いています。さらに驚異的に減少したとしてもなお命の危険に晒されるポリオの発生も存在します。

その様な状況だからこそ、私たちロータリアンはグローバルな視点を持って平和や災害の分野に積極的に目を向ける必要があるのではないでしょうか。年次基金や恒久基金、ロータリー災害救援基金そしてポリオプラス基金、グローバル補助金への寄付について、その意義をご理解頂き、ぜひ積極的にご寄付していただきたいと思います。特に恒久基金につきましては、その寄付が将来にわたって未永くロータリー活動を支えることを目的に、元金を使用せず、投資に運用し、運用益のみが使用されます。その運用益の使われ方では寄付者が希望する分野を指定することもできます。ロータリー財団の2025年までに20億2500万ドルの恒久基金(一部誓約を含む)の目標はロータリーの活動を将来にわたり安定的に活性化していくものになると考えています。私たちひとりひとりの寄付や活動は小さく、まさに水滴が水面に落ちて広がる輪の様なものです、その輪が集まることで大きな波に、そして世界では大きなうねりになるのではないでしょうか。是非ロータリアンの力でそのうねりを起こしましょう。

ロータリーでの「二つの公式標語」、「四つのテスト」を信念として活動することは、真のロータリアンとして私たちを社会人として鍛え、成長させてくれます。この精神的に鍛錬する場を多くの人に広めて、より良い世界を実現していく必要があります。そのためにもロータリーのイメージ向上が必要です。ロータリー活動を活性化することは平和な世界を築くことにつながると信じています。

今年度はメジャードナー、アーチ・クランフ・ソサエティ(AKS)など認証された方の顕彰行事を計画しています。ご自身の成長の証としてそれぞれのレベルでの認証を目指していただければ幸いです。どうか恒久基金・大口寄付アドバイザーの私たち3名を活用していただけますよう宜しくお願ひいたします。



旅するアート

第1回 東山魁夷《道》

～絶望と希望を織りまぜてはるかに続く一筋の道～

私は確かにアート好きではあるが、学生時代は小学校の教職課程にいた。全くの素人であるのに「専門家じゃないから、おもしろいのよ」という言葉にのせられ、連載を承ることにした。

作品に関する深い考察は書けないことをお許しいただき、でもせっかくなので、もう一つの趣味である旅行・散歩と絡め、お読みいただいく皆さんが「へえ、見に行ってみようかな」と、思っていただけるような散文をお届けしていきたい。



◀東山魁夷《道》
1950(昭和25)年
絹本に彩色
134.4cm×102.2cm
東京国立近代美術館

ウミネコの繁殖地として知られる八戸市・蕪島(かぶしま)から、左に海を見ながら海岸線を南下する。輝く海の青と一面に広がる芝生の緑が清々しい。そして、10kmほど進むと、本作の写生地を示す記念碑が見えてくる。その「道」は、アスファルト舗装、樹木の生長以外は、概ね70年前の風景を留めている——。

画家の眼は、大胆にも、放牧されている馬も、遠くに見える鮫角(さめかど)灯台をも省き、一本の道に絞ることを選択する。しかも消失点をうんと高くして、観る者の視点を上げさせることを企てる。

何故か。

人々が顔を上げ、戦後の廃墟から再び立ち上がる。この道は希望へとつながる一本道、そう願ったという。作者自身も家業の破綻や両親さらに弟の死など、失意のどん底にあった。そこから這い上がるのだという、心情・決意も絵の具に込め塗り重ねた。その甲斐あってか、この作品は画壇の評価も、観る者の人気も高く、画家・東山魁夷の名前を確固たるものにする出世作となった。

とてもシンプルで単純な構図の一枚ではあるが、そこには計算し尽くされた狙いがある。事実、多くのスケッチや下絵が残されており、筆を重ねた跡をたどることが出来る。微かに残る轍(わだち)やぬかるみに力強さを感じるし、真ん中ではなく少し左に寄せることにより右へ折れていく道が、その先に続く未来を感じさせる。

本作では省略された馬。「緑響く」(1982年 長野県信濃美術館 東山魁夷館蔵)で、湖畔にたたずむ姿が印象的な白馬が描かれるまでには、30年以上待つこととなる。



◀▼2016年筆者撮影



参考文献

東山魁夷『風景との対話』(新潮社)

東山魁夷『自然のなかの喜び』(国宝社)

東山すみ監修『東山魁夷への旅』(日本経済新聞社)

旅のしおり

・種差海岸:三陸復興国立公園。JR八戸線「種差海岸駅」から周遊バス有。

・東山魁夷記念館:千葉県市川市の自宅そばにある記念館。

京成「京成中山」駅から徒歩15分。

またはJR総武線「下総中山」駅から徒歩20分。



山下 隆史(やました たかふみ)
教育出版株式会社
教育研究所所長



2024-25 年度 公式訪問日程表

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

曜日	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
日			1		1			
月	1		2 大宮西 嶋田		2	川口中央 高柳		
火	2		3	1 八潮 佐藤龍	3	草加松原 佐藤進		
水	3 幸手 砂沢		4 大宮 時枝	2 上尾西 大竹	4	川口むさし野 石黒	1	
木	4 浦和中 佐藤進	1	5 上尾 佐藤進	3 岩槻 多田	5		2	
金	5	2	6	4	1	6	3	
土	6 さいたま大空 石黒	3	7	5 川口モーニング 赤塚	2	7	4	1
日	7	4	8	6	3 文化の日	8	5	2
月	8 浦和南 内田	5	9 さいたま新都心 落合	7 戸田 嶋田	4	9	6	3
火	9 春日部 金子	6 三郷 時枝	10 越谷 佐藤龍	8	5 幸手中央 平井	10 三郷中央 内田	7	4
水	10	7 鴻巣水曜 赤塚	11	9 吉川 佐藤進	6 越谷北 多田	11	8	5
木	11 久喜 砂沢	8 八潮みらい 砂沢	12 浦和東 細谷	10 越谷東 石黒	7 春日部イブニング 時枝	12	9	6 川口 佐藤龍
金	12	9 浦和 高柳	13	11 上尾北 砂沢	8	13	10	7
土	13	10	14	12	9	14	11	8
日	14	11	15	13	10	15	12	9
月	15 海の日	12 山の日	16 敬老の日	14 スポーツの日	11	16	13 成人の日	10
火	16 さいたまシティ 落合	13	17 蕨 鈴木	15 大宮中央 内田	12 川口東 細谷	17 川口西 金子	14 川口ジョイ鴻ヶ谷 時枝	11 建国記念日
水	17 浦和ダイヤモンド 水品	14	18 八潮イブニング 内田	16	13 川口南 赤塚	18	15 鴻巣イブニング 鈴木	12
木	18	15	19 杉戸 高柳	17 越谷南 金子	14	19 北本 水品	16 鴻ヶ谷 落合	13
金	19	16	20	18	15	20	17	14
土	20	17	21	19	16 地区大会	21	18	15
日	21	18	22	20	17 地区大会	22	19	16
月	22	19	23 秋分の日	21 地区大会ゴルフ	18	23	20	17
火	23 岩槻東 細谷	20 鴻巣 多田	24 越谷中 石黒	22 大宮北東 落合	19	24	21	18
水	24 桶川 鈴木	21	25 井	23	20	25	22 蓼田 大竹	19
木	25 春日部西 嶋田	22 草加シティ 水品(夜)	26 さいたま中央 赤塚	24	21 桶川イブニング 高柳	26	23 川口北 平井	20
金	26	23	27	25	22	27	24	21
土	27	24	28	26	23 勤労感謝の日	28	25	22
日	28	25	29	27	24	29	26	23 天皇誕生日
月	29	26	30	28 大宮シティ 水品	25	30	27	24
火	30 浦和北東 平井	27 さいたま櫻 金子		29	26 松伏 佐藤龍	31	28	25
水	31	28 春日部南 大竹		30 浦和北 細谷	27		29 大宮東 多田	26
木		29 戸田西 嶋田		31 大宮南 鈴木	28 吉川中央 大竹		30	27
金		30			29		31	28
土		31			30			29

※予定は変更になる可能性がございます。

※日程について、変更・合同希望のある場合は、ガバナー補佐を通して地区へご連絡願います。



国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイペックスター東館1階

TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011

E-mail : ri2770@ri2770.com URL : http://www.ri2770.com